

学校法人いわお学園

令和元年度(2020年度) 事業報告書

1. 法人の概要

(1) 沿革

平成17年03月	学校法人いわお学園設置認可。 理容美容専門学校西日本ヘアメイクカレッジ設置認可。 同 理容師養成施設指定。 同 美容師養成施設指定。
平成17年04月	理容美容専門学校西日本ヘアメイクカレッジ開校。 (理容科定員 30名、美容科定員 50名)
平成18年04月	プロ理容師養成科開講。(定員 30名)
平成19年04月	あべの新校舎開校・事務局移転。 美容科定員変更。(定員 80名) プロ美容師養成科開講。(定員 50名)
平成20年04月	美容科定員変更。(定員 160名)
平成21年04月	理容科定員変更。(定員 90名) TONI&GUY カット ACADEMY開講。 NHC ネイル ACADEMY開講。
平成24年04月	TONI&GUY カラー ACADEMY開講。
平成26年04月	あべのマルシェ校舎開校。 美容科定員変更。(定員 240名) NHC アイラッシュ ACADEMY開講。
平成27年02月	職業実践専門課程認可。(理容科、美容科)
平成27年10月	天王寺校舎北館開校。
平成28年04月	理容科定員変更。(定員 140名) NHC レディースシェーブ&エステ ACADEMY開講。
平成29年04月	プロ理美容師養成科開講(定員 90名)
令和02年04月	プロスタイリスト科開講(定員 90名) プロ理容師養成科・プロ美容師養成科・プロ理美容師養成科を統合

(2) 設置する学校の所在地

理容美容専門学校西日本ヘアメイクカレッジ

あべの本校舎

〒545-0051 大阪市阿倍野区旭町2-1-2 あべのポンテ2F

あべのマルシェ校舎

〒545-0051 大阪市阿倍野区旭町2-1-1-200

天王寺校舎 北館

〒543-0055 大阪市天王寺区悲田院町3-23

天王寺校舎 南館

〒543-0055 大阪市天王寺区悲田院町3-5

(3) 役員状況(令和2年5月1日現在)

役職	氏名	主な職業
理事長	高添 陽一	学校法人いわお学園理事長
理事	高添 裕子	会社役員
理事	平田 耕二	学校法人いわお学園教員
理事	高橋 建二	会社役員
理事	古川 繁浩	会社役員
理事	丸尾 匠司	理容師
監事	西脇 泰弘	税理士
監事	八代規素子	自営

(4) 評議員の状況(令和2年5月1日現在)

役職	氏名	主な職業
評議員	高添 陽一	学校法人いわお学園理事長
評議員	高添 裕子	会社役員
評議員	丸山 勇樹	学校法人いわお学園教員
評議員	森田 いづみ	学校法人いわお学園職員
評議員	平田 耕二	学校法人いわお学園教員
評議員	大迫 義文	理容師
評議員	蛸原 征志	理容師
評議員	岡本 貞治	理容師
評議員	丸尾 匠司	理容師
評議員	矢野 剛	学校法人いわお学園教員
評議員	下町 一久	学校法人いわお学園教員
評議員	高添航太郎	美容師
評議員	高添友梨子	美容師

(5) 教職員の状況(令和2年5月1日現在)

	専任	兼任	合計
校長	1名		1名
教員	27名	18名	45名
事務職員	7名		7名
合計	35名	18名	53名

(6) 生徒の状況(令和2年5月1日現在)

		定員	現員	充足率	前年	伸長率
理容科	1年	70名	45名	64.3%	29名	155.2%
	2年	70名	26名	37.1%	43名	60.5%
	計	140名	71名	50.7%	72名	98.6%
美容科	1年	120名	120名	100.0%	86名	139.5%
	2年	120名	70名	58.3%	92名	76.1%
	計	240名	190名	79.2%	178名	106.7%
プロ スタイリスト科	1年	30名	28名	93.3%	25名	112.0%
	2年	30名	18名	60.0%	27名	66.7%
	3年	30名	12名	40.0%	9名	133.3%
	計	90名	58名	64.4%	61名	95.1%
合計	1年	220名	193名	87.7%	140名	137.9%
	2年	220名	114名	51.8%	162名	70.4%
	3年	30名	12名	40.0%	9名	133.3%
	計	470名	319名	67.9%	311名	102.6%

(7) 土地及び建物の状況

	土地面積	建物面積	合計
あべの本校舎	634.81㎡	1,306.72㎡	1,941.53㎡
あべのマルシェ校舎	98.76㎡	270.57㎡	369.33㎡
天王寺校舎 北館	186.22㎡	413.35㎡	599.57㎡
天王寺校舎 南館	193.04㎡	301.97㎡	495.01㎡
敬愛ガーデン(寮)	267.76㎡	531.33㎡	799.09㎡
あべのポンテ506(寮)	27.89㎡	86.85㎡	114.74㎡
あべのポンテ706(寮)	27.89㎡	86.85㎡	114.74㎡
合計	1,436.37㎡	2,997.64㎡	4,434.01㎡

2. 事業の概要

(1) 教育活動

国家試験の結果、美容科は87名が受験し、79名が合格(合格率 90.8% 前年比 +0.1ポイント) 不合格者8名の内訳は、実技試験不合格者3名、学科試験不合格者5名となりました。例年通り模試等の結果に基づき、定期的にランク分けを変動させながら、ランク毎の少人数制指導を徹底しましたが、十分に効果を発揮できなかった結果と認識しています。今後、基礎学力に遅れの見られる生徒に、効果的に知識を習得させるために、更にランクを分けた少人数制指導の実施等、効果を見ながら臨機応変に取り組むべき課題ととらえています。

対して理容科は、39名が受験し、27名が合格(合格率 69.2% 前年比 ▲28ポイント)、不合格者12名の内訳は、実技試験不合格者2名、学科試験不合格者10名となりました。通信課程を含めても全国平均 75.6%を大きく下回る結果であり、深く反省している次第です。今後は40名近くになったクラスにも対応できる様、美容科との連携も密にし、試験直前期の少人数制指導の方法等を参考にし、合格率の改善を図る様に努めます。

職業実践専門課程の認可を受け5年目を迎えました。その成果を発表する場として、初年度より取り組んでいるNHCフェスティバルも5回目を迎え、今年度も7月23日(火)に大阪国際交流センターで開催しました。次第に認知度も高まっており、今年度は13校で15ダンスチームが出場していただきました。また、生徒のヘアメイク指導の他、来場者向けのブースでの施術に計25社の校友会サロンの協力をいただきました。現場で活躍する理美容師を講師に招き、ダンスパフォーマンスに合わせたヘアスタイルの具現化という実践的な機会を通じ、生徒の理美容師になりたいという想いを強めさせるとともに、高校生にも理美容師という職業の素晴らしさを実感してもらおう場として、文部科学大臣・厚生労働大臣から賞状も頂戴しており、今後も継続して取り組んでいく所存です。

また、令和2年度よりプロ理容師養成科にプロ美容師養成科を統合し、サロン勤務の生徒を受入れるコースを3年制のプロスタイリスト科として一本化します。修学支援制度の施行により、就職希望の高校生の減少が予測される中ではありますが、皆無になるとは考えられず、通信課程併用により3年後の卒業時に国家資格を取得するとともに、集合訓練の場での反復練習と企業実習における実践的訓練の併用により、同時にスタイリストデビューできる人材の育成に取り組んでまいります。

(2) 就職支援

就職活動の早期化に取り組み、例年4～5月にかけて実施していた校友会サロンを学校に招いての就職ガイダンスを今年度は年度開始前の2月に2度開催し、意識の醸成を図りました。(52社参加)

その他、卒業生全員に対する個別面談、面接練習等の個別指導を徹底して行い、昼間卒業生127名の内、就職希望者116名(理容科38名、美容科83名)全員が、卒業時までには内定をいただくことができました。(就職率 100%)

その中で校友会サロンに就職した者は、91名(78.4%)となり、NHCフェスティバル等を通じて築いている校友会サロンとの絆の強化を進めることができました。

一方で理美容サロンへの就職を希望しない生徒も11名(8.7%)と10%に迫る数となりました。当面は、居心地の良さから現在のアルバイトを継続する生徒が多数ですが、職業教育を謳う専門学校としては力不足を感じる結果となっています。就職活動に向けた平素の指導はもとより、実践教育に伴うサロンワーク等で業界の厳しさから敬遠してしまう生徒もあり、その改善が課題となっています。

また、前述の就職活動の早期化に伴い、1年生の就職ガイダンスも2月に1度開催しましたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により2回目は中止とせざるを得ず、サロンの経営状況悪化による採用控えも予想されるため、校友会サロンとの連携を密に今年度の就職活動に取組む必要を感じています。

(3) 広報活動

広報活動においても、前述のNHCフェスティバルを一大イベントに位置づけて取組み、大阪国際交流センターがほぼ満席になるほどの動員を実現することができました。また、戦力が薄くなるリスクはありますが、土日オープンキャンパスに出勤する教職員を2班集体にし、オープンキャンパスの回数を増やすことに取組みました。参加人数をこちらでコントロールできないため、参加人数によってはスタッフとのバランスの厳しいときもありましたが、全体として参加人数の増加につなげることができました。

最終的な入学者数は、美容科は初めての定員達成となる120名(前年比 +34名 139.5%)、理容科は45名(前年比 +16名 155.2%)とともに大幅な増員を達成することができました。

前述のプロスタイリスト科は、定員30名に対して28名入学(93.3%)となり、就職希望者だけでは充足できない部分を定員から溢れた生徒により加算できた部分も大きかったと思います。

少子化による影響や、令和2年度に施行された高等教育無償化の問題もあり、今後益々厳しい状況が予測されるではありますが、高等教育無償化に加え、失業者に対する助成等タイムリーに国の施策に対応することで、経営の安定に取り組んでまいります。

(4) 校友会

令和2年5月現在の校友会加盟サロン数は220社となりました。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止となりましたが、6月の校友会総会・定例講演会を中心に、秋の定例講演会、親睦ゴルフコンペ、新年互礼会といった校友会主催イベントに加え、学校主導で就職ガイダンス、サロン体験、NHCフェスティバル等で協力を仰ぎながら、共存共栄を目指しています。

前述の様に生徒募集のための広報活動の厳しさが予測される中、生徒募集の面で校友会サロンの協力を得られるか否かは結果を大きく左右するものにとらえています。

上記イベントを通じる中で、確固たる信頼関係を築き、サロン様からは生徒募集の面でも積極的に協力いただき、学校側からは預かった生徒を資格・技術・知識を養成した上で就職という形でお返しできる様な関係を築きたいと考えています。

(5) 教員の資質の向上

昨年、夏休み期間に実施した全教職員参加の研修会「タグライン設定を通じたの学校の方針・方向性の共有」(株式会社リクルート主催)について、秋にフォローアップ研修を実施し、1年の取組みを振り返り、改めて学校のベクトルを共有しました。

また、夏休み期間には、今年も川西寿美子先生に依頼し、教員研修会を実施した他、顧問である置田和夫先生に平素からの教員会議に出席いただき、指導を受ける等、教員の資質の向上に取り組みました。

(6) 修学支援制度について

昨年9月に高等教育の授業料無償化対象校として認可されました。

令和2年5月現在、初年度の採用者は2年生 28名(理容科 8名、美容科 20名)、1年生 36名(理容科 6名、美容科 29名、プロスタイリスト科 1名)となっています。

家計収入の違いにより、減額区分は3段階に分かれています。全体で 64名の採用者は、全校生徒の20.1%となります。

この他にも希望はしたものの、家計収入・学業成績により不採用となった者も相当数おり、今後の生徒募集という意味合いでも、修学支援制度の対象校であるか否かは専門学校の行く末を左右する大きなキーであると感じています。

そういった意味では、今年度美容科が入学定員を達成したとはいえ、昨年の不振が尾を引く形で2年生まで入れた定員充足率は、68.5%に留まっています。

修学支援制度の認可には、令和3年度 70%、令和4年度以降 80%以上の定員充足率が求められることを考えると非常に厳しい数字になっています。

今後、国が専修学校に求める経営の安定性を追求するためには、各科の状況を見極め、適正な定員への減員も検討していく方向です。